

平成21年 5月20日



森づくり集団「^{しほり} 菜」事務局通信 Vol.8号

今月のお知らせ：平成21年度第2回理事会の報告

【今月の活動報告】【次回の活動予定】【今月のレポート】【お知らせ/募集】【編集後記】



5月三芳フィールドの様子

【今月のお知らせ】

平成21年度第2回理事会の報告

5月10日の三芳フィールド活動の後に開催しました。

参加者(敬称略)

理事：渡部・吉田裕之・小林(神座・武田は欠席)

監事：吉田敦子

事務局：緑川

会員参加：杉山・田中

<協議・決定事項>

1. ホームページ開設について

URL は、<http://www.mori-shiori.com/>

初年度費用は、6,920円【内訳：920円(ドメイン料)+1,000円(サーバレンタル初期費用)+5,000円(サーバレンタル年)】

2年度以降の費用は、5,920 円/年【内訳:920 円(ドメイン料)+5,000 円(サーバレンタル年間費用)】

管理人は、田中・吉田裕之

2. H21 年度年間活動スケジュール表の作成について

現在、ホームページ上に掲載されていますが、それを参考にいただき、各事業担当者(正副)にて速やかにまとめて事務局に報告すること。(5月5日に理事宛にお送りしたスケジュール表に書き入れてください。)

3. 最上の巨木ツアーについて

5月12日のメール配信のとおり、延期することに決定。

4. 定款改定について

第2回総会にて、団体名称を変更しました。その時には定款本文の語句修正をしませんでした。よって、附則に項目追加で了解いただき、次年度の総会で提案する。

5. 諸備品購入について

セブソーイレブンみどりの基金からの助成金で、以下の備品を購入します。

【なた・のこぎりセット、ヘルメット、仮払い機、グリーン保険12回分、シャベルなど】

6. 事務局の追加について

ホームページ担当として、田中さんを新たに事務局とした。

7. 会員名簿の配布について

5月11日にすでに配布済み

代表理事 小林秀夫

【今月の活動報告】

5月10日(日)10:00より15:00まで 三芳フィールド

参加者 / 小林、緑川、渡部、吉田(あ)、豊島、北村(み)、田中、杉山、
吉田(春日部)、吉田ひ (敬称略)

五月晴れの5月10日はいよいよ三芳フィールドの保全活動が始まりました。

活動にご参加頂いた皆さんお疲れ様でした。

参加できなかった皆さんへ新しいフィールドのご紹介も兼ねて作業の様子を報告します。

三芳フィールド取得にご尽力頂いた小林代表理事と緑川事務局長よりエリアの概要などについての説明を伺った後、本日の活動予定について打ち合わせた。

今回の作業は、エリア内に参加者が集ることができる空間を作ることを目標に作業開始・・・



最初は、森に入ることすら躊躇うほどの藪が少しずつ明くなっていきます。見渡しの効かない混み合った場所の作業は大変危険です。互いに声を掛け合いながら隣接作業とならないように注意します。安全のため音の出る機械も未だ使いません。



林床の植物へ光が届くことを阻害していたイヌツゲ、ヒサカキ、シラカシやアオキなどの幼木を手鋸や鉋などを使い払っていきます。



刈り払った灌木類は、長さを揃え葉を裏返しの状態で木の根元にまとめていきます。束ねられた枝葉は、昆虫類や爬虫類などの隠れ場所や住処として利用されます。長い間手入れをしていない森では、様々な植物が陽光を求めて方々に枝葉を伸ばしていくため、曲がりくねった形状の良くない樹木が多くなります。



低木類の刈り払い作業が一段落すると次は亜高木の除伐です。亜高木を伐採する前に、森の管理方法や将来どの様な森にするのかななどを十分に協議し除伐する樹木を選定していきます。本日の協議では、地域に生育する代表的な樹種を保存することや高木類の世代交代をすることにより、森の若返りを図っていくことにしました。



最後に林冠を覆っている高木類の除伐です。
選木されたのは、樹齢50年以上の曲がったクヌギの大木です。
このあたりの森では、江戸時代の頃から20年前後の間隔で伐採が繰り返されており、これまでで最大の規模まで成長したと推測される状態の大木です。
近年「ナラ枯れ病」などと呼ばれコナラやミズナラの大木が枯れてしまう被害が全国的に発生していますが、原因の一端として二次林(農用薪炭林など)の高齢化が森林総合研究所の研究報告書で提言されています。



狭い空間で、曲がった高木を伐倒することは、技術が必要です。
少しでも方向がそれれば、保存する樹種をつぶしてしまうからです。
樹木の重心を読み、正確に受け口を作り、微妙な弦の残し具合を調整する必要があります。



万一に備えザイルを張り、伐倒方向からそれないように調整します。
ザイルを引く人は、滑車を利用して樹木が倒れる方向から逸れた位置に立ちます。
倒れるきっかけは、合図によりザイルを引くことです。
伐倒者がきっかけを作る場合は、くさびを利用します。



みごと予定どおりの方向へクヌギの大木が倒れました。



検証中・・・

クヌギ一本分のギャップができました。
この隙間から陽光が林内に射してきます。



明るくなった林内
来春には、どんな春の妖精たちが現れるか楽しみです。



本日の目標であった作業者が集う
場所ができました。
三芳フィールドが
どんな「美人林」となるのか楽しみです。



森林保全活動担当 吉田ひ

【次回の活動予定】

6月7日(日)10:00より

三芳フィールド作業予定

今回は第3フィールド(三芳フィールドで)植生調査を行う予定です。

参加される方は、事務局まで申し込みをお願いします。

自然回復度調査担当 吉田 あ

【今月のレポート】



第3フィールドの
少しミニチュアのギンラン or ササバギンラン。
ギンランなら RD カテゴリ A です。
2009.4.29 撮影



第2フィールドの
クチナシグサ
RD カテゴリ A です。

2009.4.29 撮影

第3フィールドの
キンラン
これも RD カテゴリ A です。
2009.4.29 撮影



第3フィールドの
フデリンドウ
根本に大きな葉のロゼットが無い。
2009.4.29 撮影



見つけました。
第3フィールドの
クチナシグサ。
花は終わっていました。
2009.5.9 撮影



第3フィールドの
ギンラン or ササバギンラン
どちらでしょう？
2009.5.9 撮影

【お知らせ/募集】

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっております。
会員のほとんどが森林インストラクターの資格をもち、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。
私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをおこない、経過を観察したり、新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。
また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画も計画していますので、興味のある方は下記事務局にご連絡下さい。

事務局

編集後記

新緑を追いかけて秩父へ行ってみました。入川渓谷は新緑ときれいな川とあまり多くない植物(鹿に食べられた)や鳥たちが迎えてくれました。途中澄んだ鳴き声だけで姿は期待しませんでした。「オオルリ」に出会えました。荒川の源流の分岐点では数日前の雨でいつもより水量が多くシオジ、カツラ、サワグルミなどのみずみずしいまでのみどりとなつぷりのマイナスイオンに包まれそのまま我が家までお持ち帰りました。

電車の中は中高年の男女が多く見られ行きは期待で胸ふくらませ遠足のように嬉々として、帰りは達成感と安堵で気がゆるみ、寝る人、飲む人、食べる人千差万別…さすがに長く人生過ごした人たちが降りる時ゴミはありませんでした。

今日も楽しい一日でした……

我、脳も少しづつ樹木の名前を蓄積してきていることが確認できました。

事務局 緑川

季節の言葉

芒種(ぼうしゅ)……二十四節気の一つで6月6日ごろ。西日本では梅雨入りするかなあ

夏至(げし)……二十四節気の一つで、6月21日ごろ。昼間の時間が最も長くなる日。

薫風(くんぷう)……木々の間を通りぬけた夏の南風が、香りを運んでくる。

短夜(みじかよ)……夏の夜は短い……。

あ

森づくり集団「里ネット」事務局
アドレス m-mido@tcat.ne.jp
事務局長 緑川睦子